

腹膜透析 (PD) のおかげで旅三昧。 透析はしているけれど、 「他にどこも悪いところなし」と 主治医が太鼓判！！



長島俊男 さん



そのときの気分で行きたいところに～ 自由気ままに旅するのは最高の贅沢ですよ！

自分が開発した機械で会社を立ち上げた長島俊男さん。経理を担当する奥様と、仕事だけでなく、釣りや登山の趣味も共有、二人三脚で歩んできました。息子さんに事業を任せたと後は夫婦2人で旅に明け暮れる日々。それが登山中の事故がもとで腎臓を悪くして腹膜透析 (PD) を導入することになりました。いったんはあきらめかけた旅でしたが、得意の機械いじりの技術で車を改造し、透析液を積み込み、日本全国、釣りに温泉に旅三昧の PD ライフを送っています。

透析液を車に積んで 年間 100 日の旅を

松村 腹膜透析 (PD) をしながら旅行なさっているとか。

長島 ええ、釣りが好きでね、一年で 100 日くらいは旅しています。

旅行は透析を始められる前からしていたのですか？

ええ、保存期のころは年に 150 日くらい行ってました。

1 回の旅行は何日くらい？

2～3 週間ですね。

透析液は前もって送っておくんですか？

車に積んでいきます。

そんなに積めるんですか？

キャンピングカーを改造して、ベッドの下に透析液を積めるようにしたんです。

最近はどこへいきましたか？

家族や社員と奥飛騨に。そこから金沢にあって子供たちと別れ、尾道まで走って、しまなみ海道で四国に渡り、あっちこっちで釣りをして、八幡浜からフェリーで九州に入り、温泉に入りながらぐるりと回って長崎に 1 週間くらい。ナビもつけずに、気の向くままに旅しているんですよ。

インタビュー 松村 満美子

運転は奥様と交代で？

いや、全部かみさんが運転してくれます。

お一人で？それはすごい。泊まるのは基本的に車ですか？

ええ、ホテルや旅館には一切泊まりません。

お風呂は？

近くの風呂屋か、道の駅の風呂、日帰り温泉に寄ったり。九州なんかどこでも温泉がありますからね。

料理はご自分で？

ぜんぶかみさんがしてくれます。釣りで毎年同じところに行くから、漁師さんと仲良

なくなっちゃって、「また来たの、これ持っていきなよ」なんて魚をくれるんです。野菜は道の駅で新鮮なのを買えるしね。それは美味しいでしょうね。でも、透析をしながらの旅でトラブルが起きたことはありませんか？

特にないですよ。あっ、旅行中に腹膜炎を起こして鹿児島島の病院に1週間入院したことがあります。

やっぱり車のなかでの透析液の交換のせいですか？

いや、それは先生方も心配していろいろ検査してくれたのですが、そうではなく内臓から菌が入ったのではないかということです。車は見た目はボロボロですが、なかはずごくキレイなんですよ。

それも奥様がキレイにしてくださいませんか？

そうそう、僕はずぼらだから、透析のこともカミさんが全てやってくれます。

運転に、料理に、PDの世話もして下さって、すばらしい奥様ですね。

ほんと、カミさんがいなくなったら僕はなにもできませんよ。世界一の女房だと思っています。

しっかり勉強し 納得してPDを選択

腎臓が悪くなったもとの病気はなんですか？

分からないんです。僕は登山もやるんですが、13年くらい前に栗駒で滑落し複雑骨折してね。救援隊に救助され福島県の病院に担ぎ込まれたんですが、無理やり東京に戻ってきたことがあるんです。その時の痛み止めが原因かも。

薬が強すぎたんですか？

たぶん。帰ってきてかかりつけの稲城市立病院で検査をしたら腎臓がおかしいと言われ、もらった薬を見せたら、相当強い薬らしいです。まあ、もともと腎臓が弱っていたんでしょうけど。

腎臓が悪いという自覚はなかったんですか？

なにも症状がなかったからまったく気がつかなくて。

それで保存期の治療を始めたのですか？

腎臓がどんな臓器なのかも知らなかったから、勉強しましたよ。カミさんも腎臓病食の本を買ってきて、腎臓にやさしい食事を作ってくれるようになりました。



保存期のときはなにかトラブルはありましたか？

記憶にないですね。食事は厳しくやっていたから。

いつ透析導入に？

クレアチニンも安定していた10年くらい順調だったのですが、一昨年暮れに南紀白浜に釣りにいったんです。寒くて風邪を引いちゃってね。帰ってきたらがっくりきちゃって、クレアチニンがガンと上がってしまい、即、透析です。

どうしてCAPDを選ばれたのですか？

前からいずれ透析だと言われていたので、勉強はしていたんです。カミさんの兄が透析をやっていたので話を聞いて、「大変だな～、旅行には行けないし、美味しいものは食べられないし」と思って、いろいろな本を見ていたら、腹膜透析という言葉がでてきたんです。「なんだろう？」と、人に聞いたり調べたりしたら、自分でできるというので、「これはいい」と思いました。

先生も賛成なされたのですか？

ええ、腎臓の先生だけじゃなく、オペする先生からもメリットやデメリット、詳しく教えてもらい、他の病院にいったらPDに詳しい先生の説

長島 俊男 さん

1938年生まれ。78才。独学で技術を習得し電子機械の会社を設立。息子さんに事業を引き継いでから、奥様と2人、キャンピングカーで日本中を旅しながら釣りや温泉を楽しむ日々。65才のとき山で事故にあい複雑骨折。そのときに腎臓が悪いことが分かり保存期の治療を開始。76才で腹膜透析(PD)を導入してからも旅を楽しんでいる。

明も聞いて、納得してPDに決めました。

透析しながらの旅行に不安はなかったですか？

いや、全然。そらまめ通信とかで旅行にいつてる患者さんの体験談を読んでいましたからね。

鹿児島で腹膜炎になったほかになにかトラブルは？

東京でも一度、腹膜炎になりました。この時も原因は内臓系だろうということで、3週間入院しました。

旅行中の透析液交換のせいじゃなかったんですね。

蓄尿して自己管理 外来で悪いとこなしと

腎臓のほかに病気になったことはないんですか？

10年前に胃がんを。保存期のころですね。どうして発見できたんですか？

急にクレアチニンが上がって入院したんです。違う病気がありそうだっていうんで精密検査をやったけど、なんにも出てこなくて。たぶんガンだろうって3回目に胃カメラを飲んだときに5ミリの

ガンが見つかったんですよ。手術したのですか？

胃を3分の2取りました。胆嚢もリンパ腺も全部取っちゃって、今、10年目で完治っていられています。

早期に発見できて幸いでしたね。それで腎臓病も悪化はしなかったんですね。

大丈夫でした。今日は外来だったのですよね、いかがでしたか？

主治医の河原崎宏雄先生から、「どこも悪いところはない」といわれて、「僕は病人なんですけど」と答えたくらい、調子いいです。

お元気そうですものね。その秘訣はなんでしょう？

食事療法を徹底してます。PDは保存期のころより制限は楽になるのでは？

カミさんは今でもきちんと計って作ってくれています。そこまでやっていたらPDも長くできるかもしれませんね。

ええ、PDを始めて2年ですが、まだ毎日2000ccくらいの尿がでるんです。

それはすごい。計っていらっしゃるの？



血圧と体重、あと畜尿も毎日やっています。

畜尿までしている人はなかなかいないんじゃないですか。

利尿剤をもらっているんですけど、尿がすぎるので、尿量をみながら自分で薬の量を調整しているんですよ。

自分で？大丈夫ですか？

毎日、データをとって、外来のときに先生にみてもらい、許可をもらっています。

きちんと計って、体調に合わせて調節できてるって、すごいですね。まだまだ旅行ができますね。

あと3年で平均寿命だから、それまでカミさんと旅が続けられれば本望ですよ。すばらしい奥様と自由気ままな旅、お金では買えない贅沢ですね。

インタビューを終えて・・・・・・・・・・



外来の診察に来られたときに稲城市立病院の一室をお借りしてお話を伺いましたが、自由闊達なお人柄で時の立つのを忘れるほどでした。自分で改造したキャンピングカーで全国を巡っての釣り三昧なんて、羨ましくなりました。9つも年下の奥様とは喧嘩をしたことがないほど仲が良いそうで、仕事も一緒、食事も一緒、遊びも一緒、車の運転もPDも全てやってくださるといふ出来すぎの奥様。本当に良いパートナーに恵まれて良かったですね。また楽しい旅のお話を聞かせてくださいネ。